

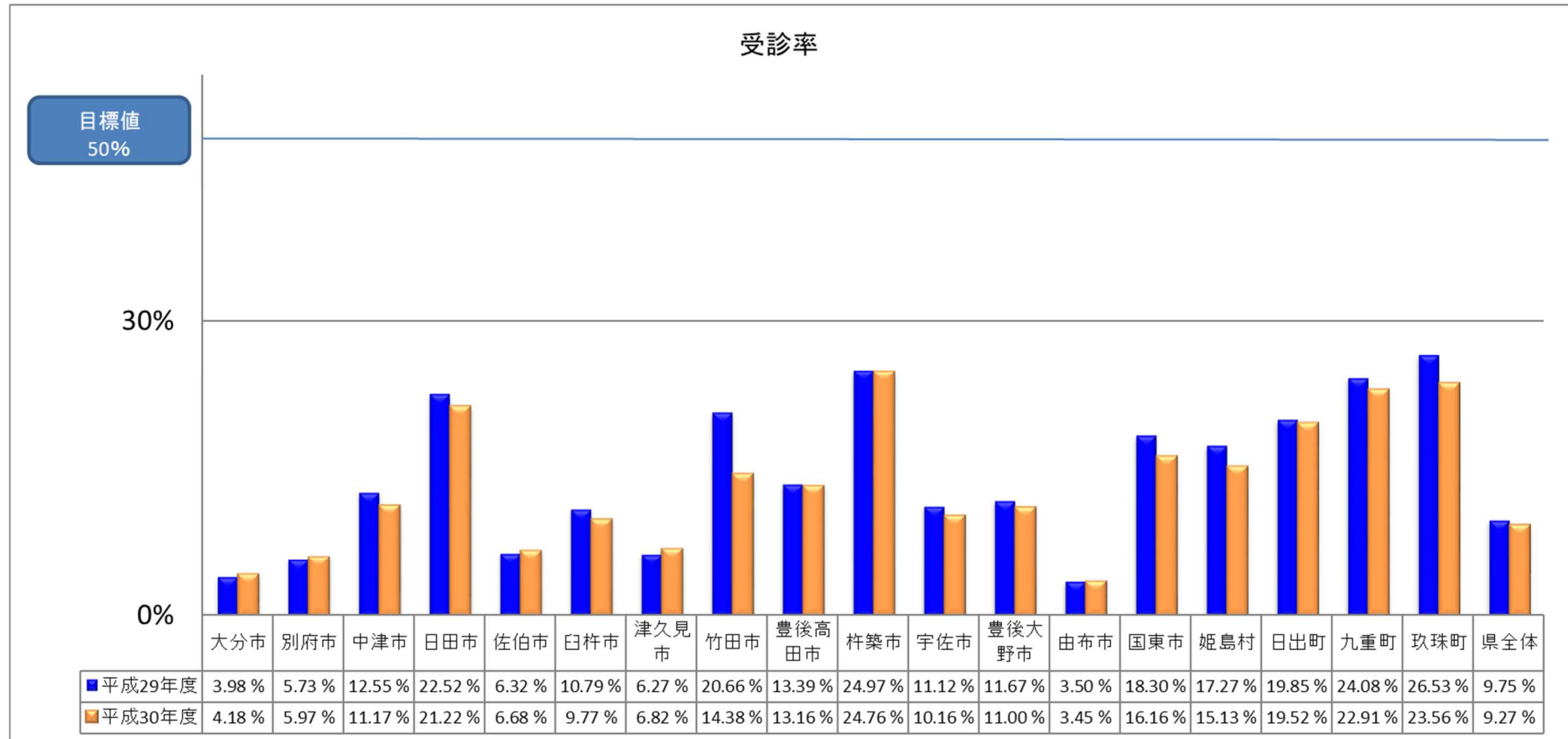
平成29年度、平成30年度 がん検診精度管理指標数値の調査結果

(1) 胃がん検診

①-1 胃がん検診 受診率/市町村別集計

目標値である50%にはいずれの市町村も到達していません。

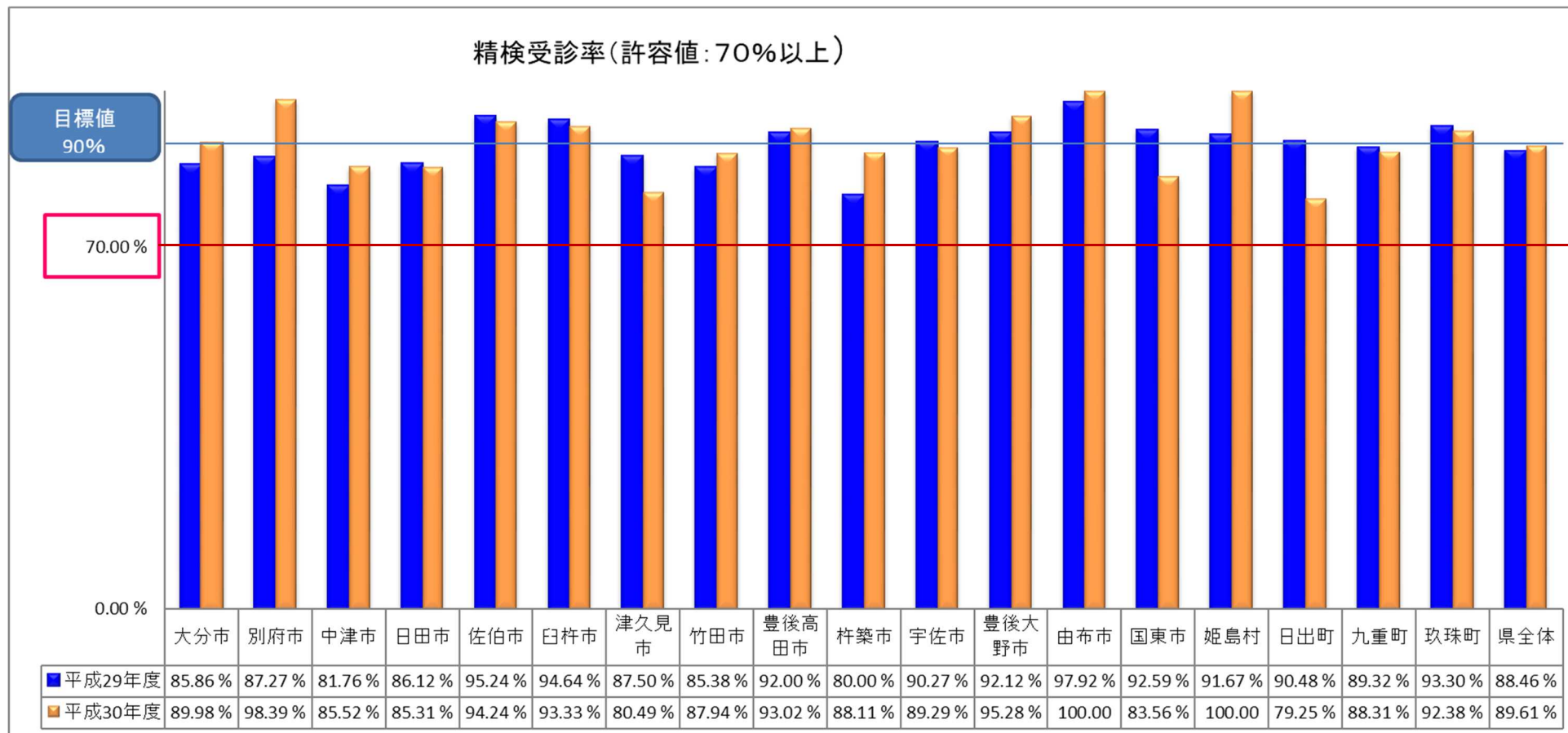
ただし、がん検診対象年齢層の大部分を含む職場での受診状況（職域検診）が含まれないため、実際の受診率と乖離が大きい。



* 居住市町村不明分を除く

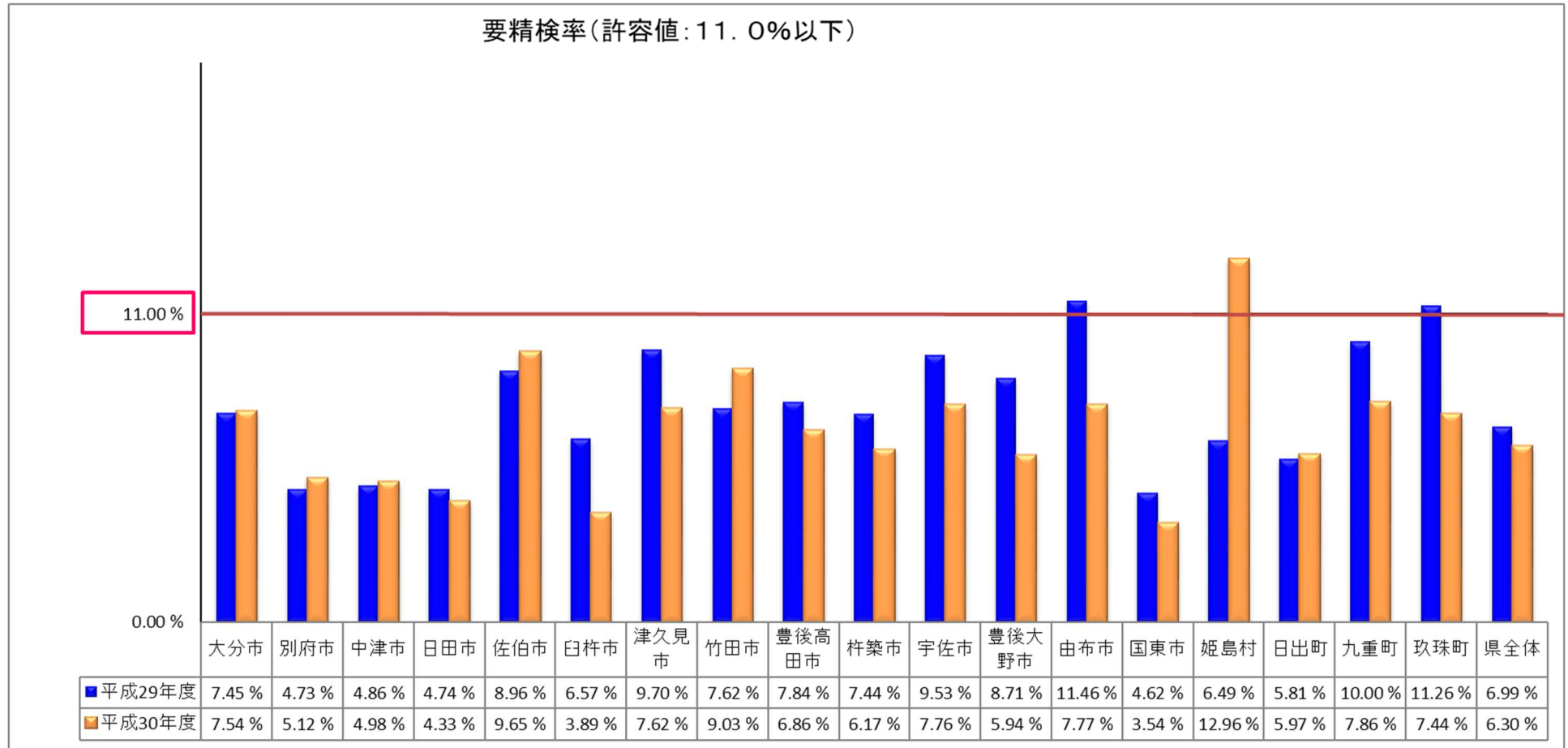
①-2 胃がん検診 精検受診率/市町村別集計

許容値である70%をいずれの市町村も達成しています。平成28年度から平成29年度は県全体でわずかに低下していましたが、平成30年度は微増しました。



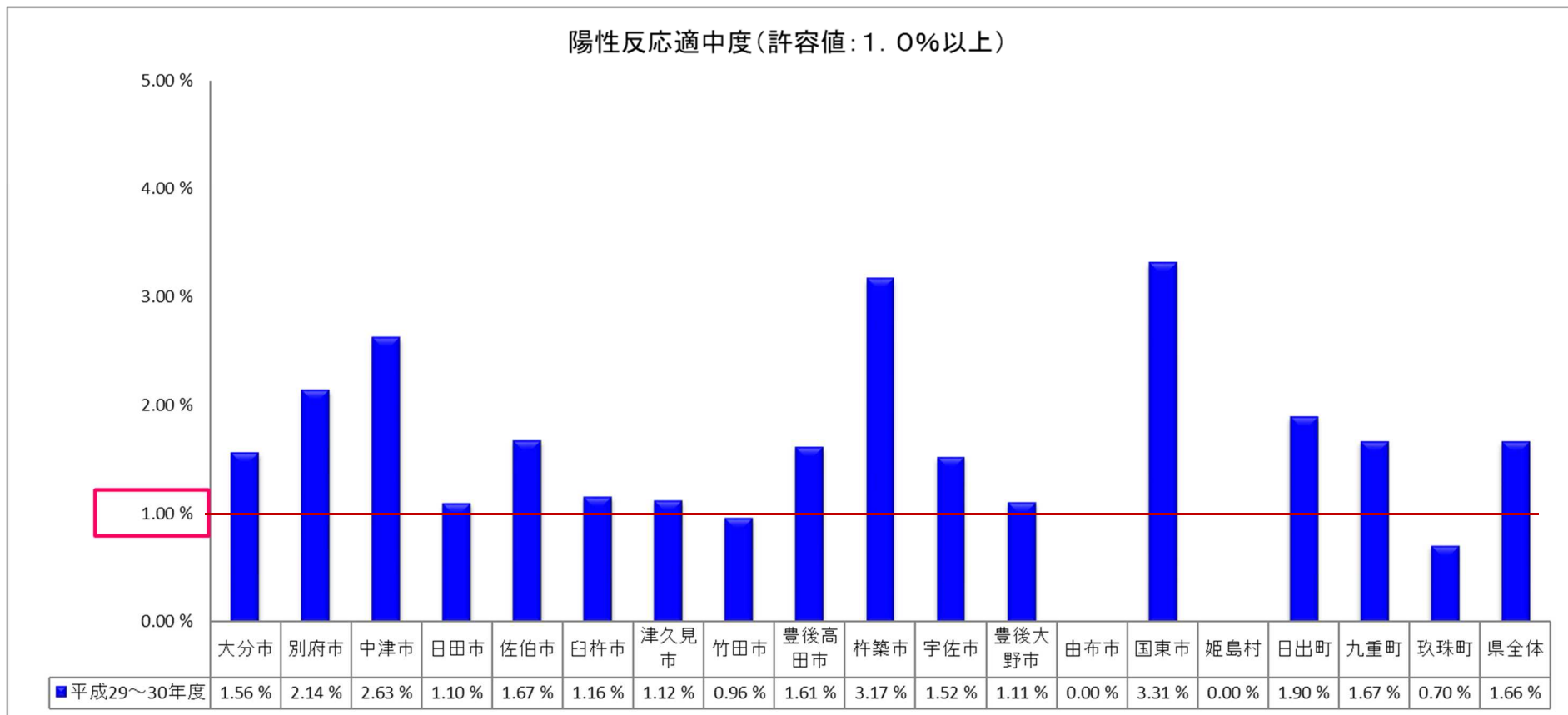
①-3 胃がん検診 要精検率/市町村別集計

姫島村以外は11%以下を達成しています。姫島村についても、受診総数が少ないための変動と考えられます。



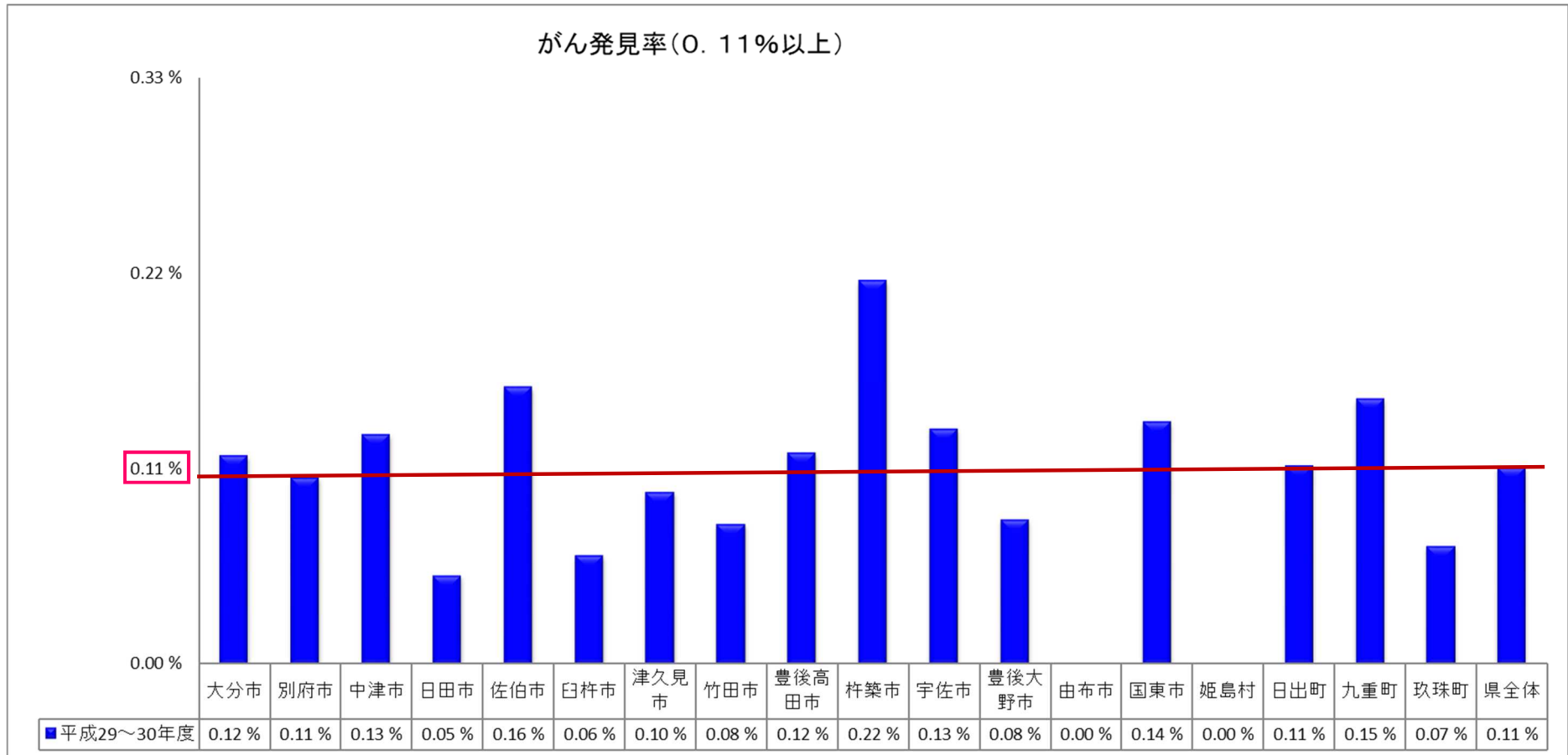
①-4 胃がん検診 陽性反応適中度/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成28年度及び平成29年度の平均による数値で示しています。県全体でも1%以上であり、大きく外れた市町村はありません。



①-5 胃がん検診 がん発見率/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成28年度及び平成29年度の平均による数値で示しています。
 県全体でも0.11%であり、許容値と同じである。

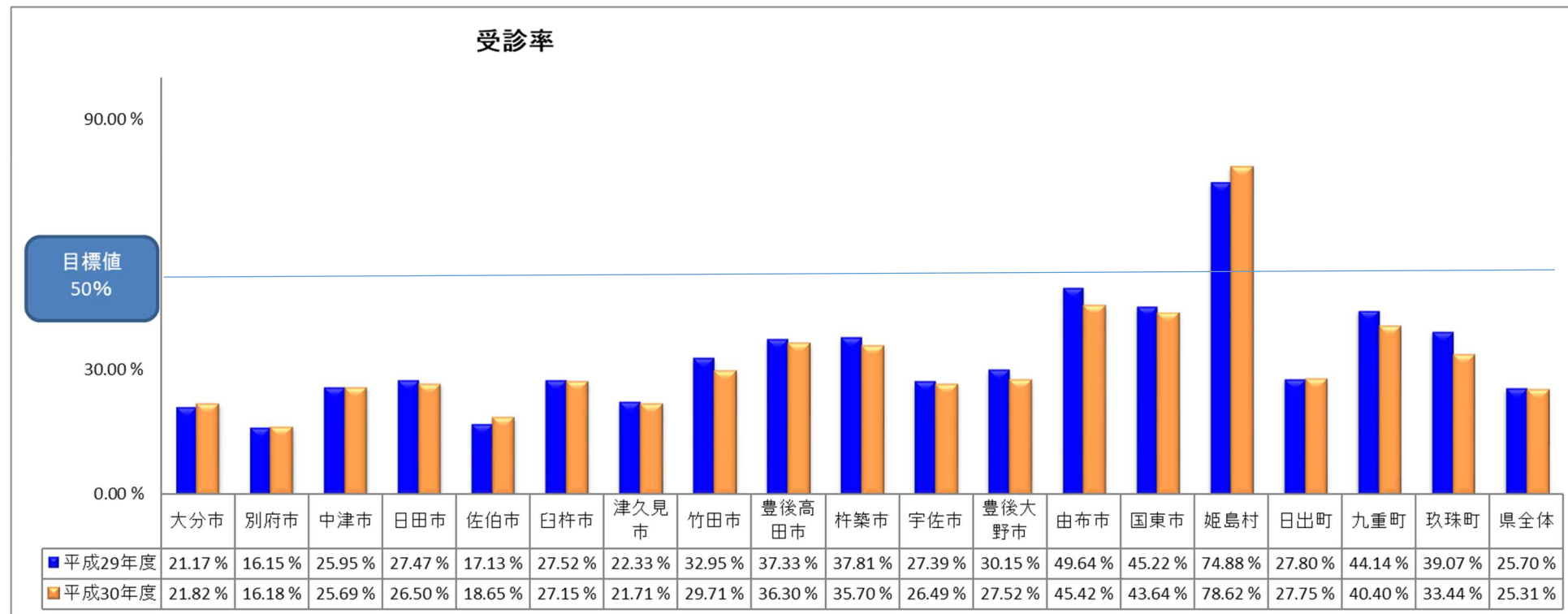


(2) 肺がん検診

①-1 肺がん検診 受診率/市町村別集計

姫島村のみ、目標値である50%を達成しています。

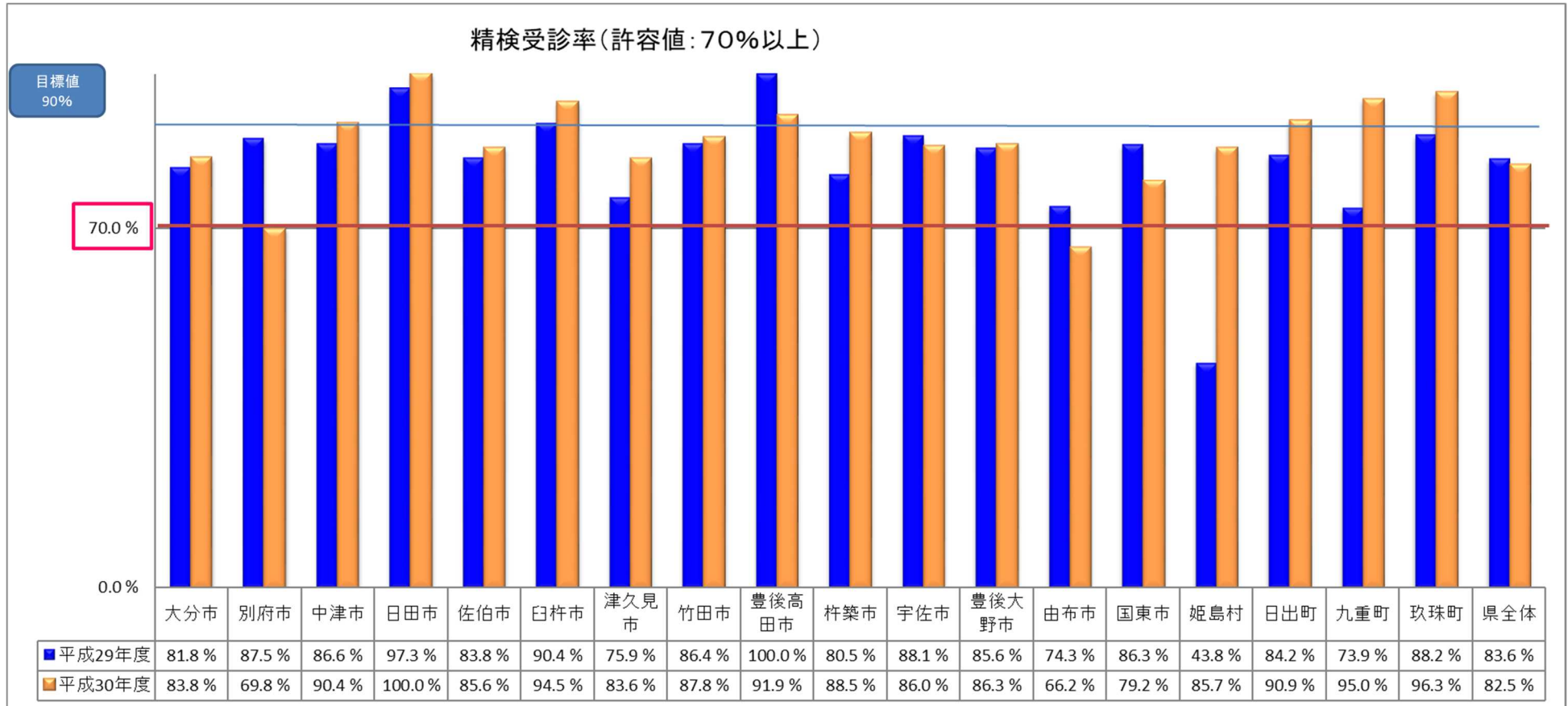
ただし、がん検診受診対象者である職域検診受診者が含まれないため、実際の受診率との乖離が大きい。



*居住市町村不明分を除く

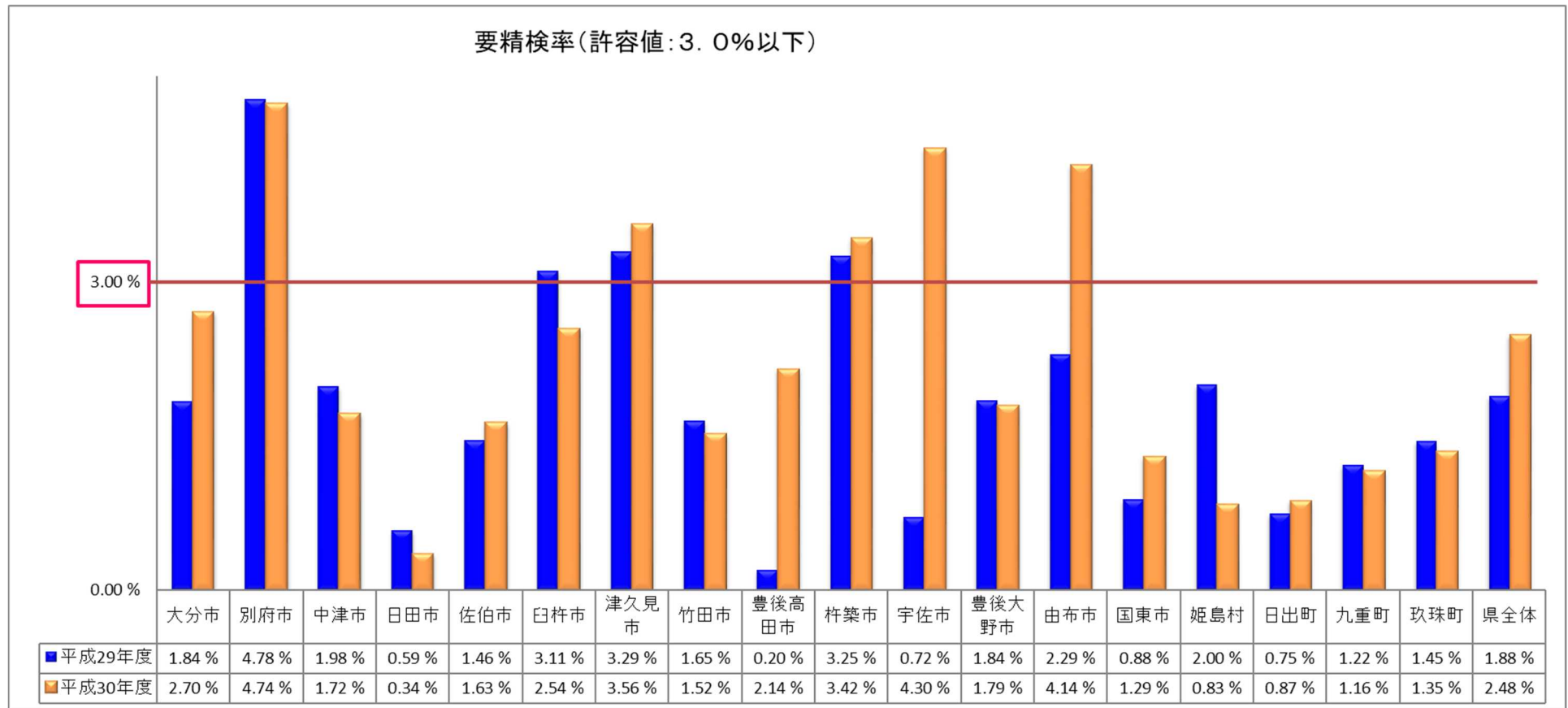
①-2 肺がん検診 精検受診率/市町村別集計

許容値である70%を17市町村が達成しています県全体でも80%以上を達成しています。



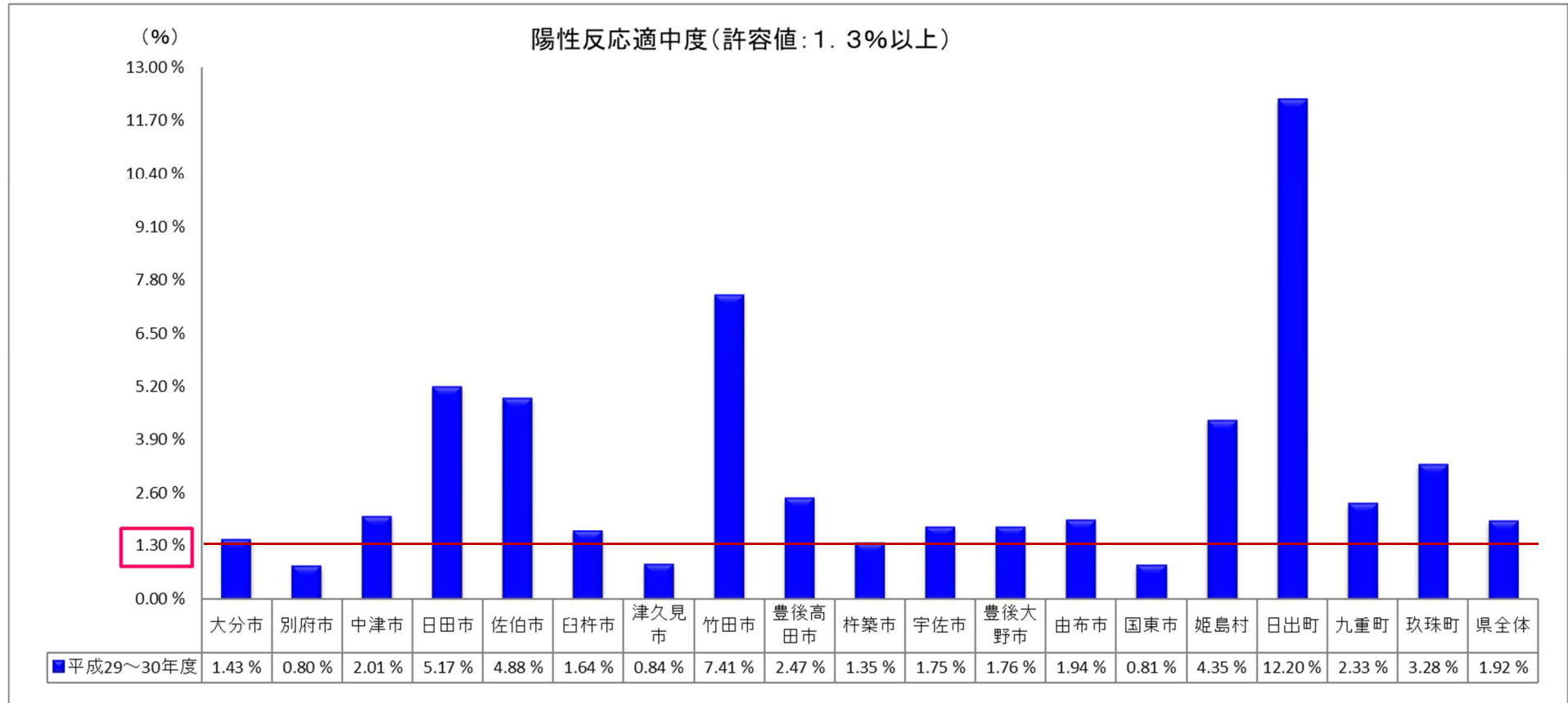
①-3 肺がん検診 要精検率/市町村別集計

県全体では3%以下であるものの、3%より常に大きい、または小さい値の市町村は検討が必要である。



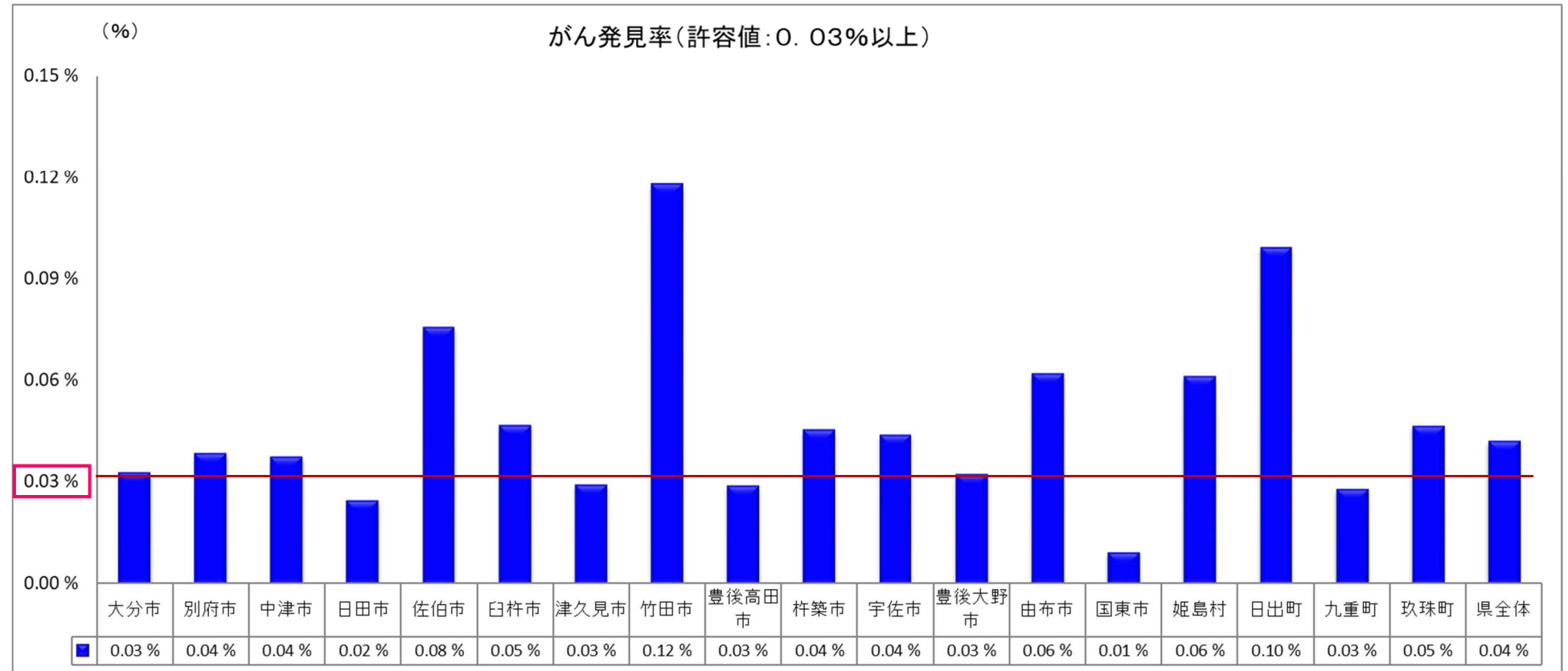
①-4 肺がん検診 陽性反応適中度/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成 29 年度及び平成 30 年度の平均による数値で示しています。
 県全体では良好な数値であるが、市町村間の変動がやや大きい。



①-5 肺がん検診 がん発見率/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成 29 年度及び平成 30 年度の平均による数値で示しています。なお、小数点第 3 位を四捨五入しているため、グラフと数値で多少の変動があります。

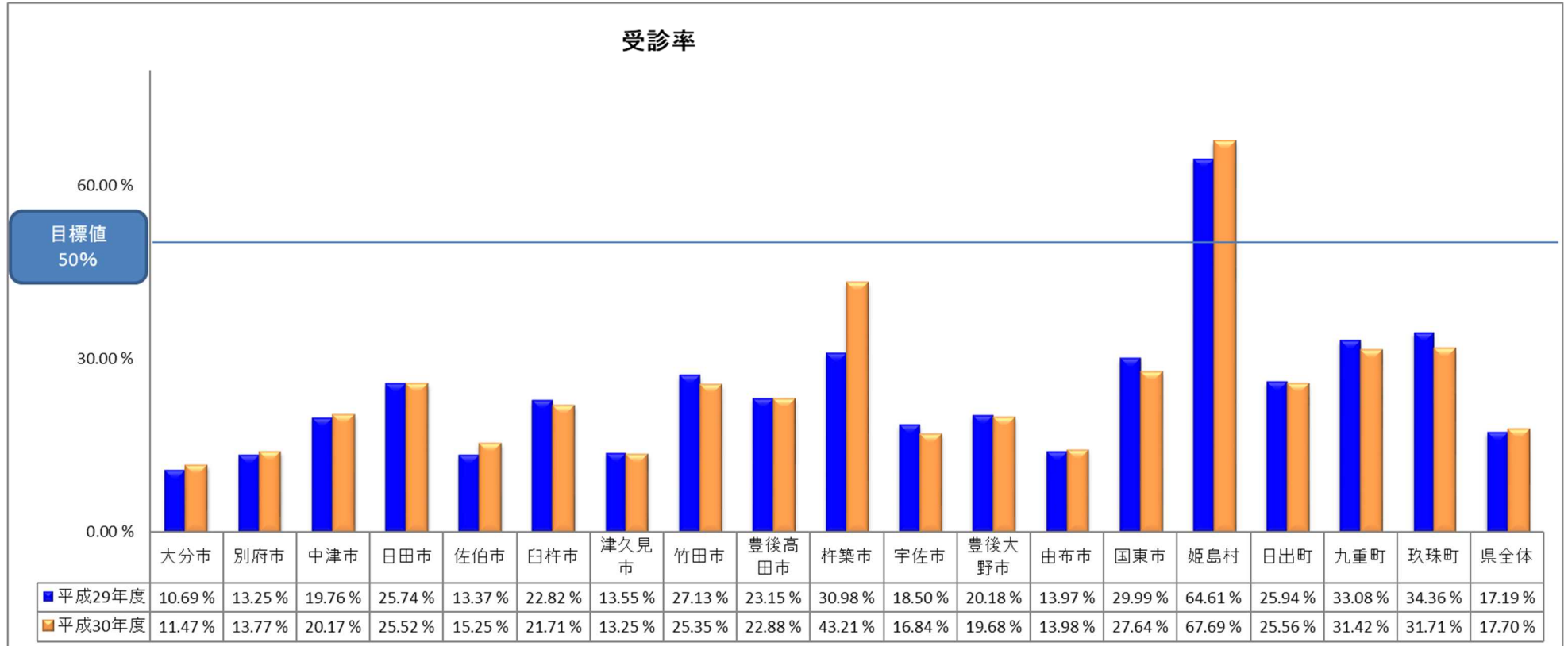


(3) 大腸がん検診

①-1 大腸がん検診 受診率/市町村別集計

姫島村のみ、目標値である50%を達成しています。

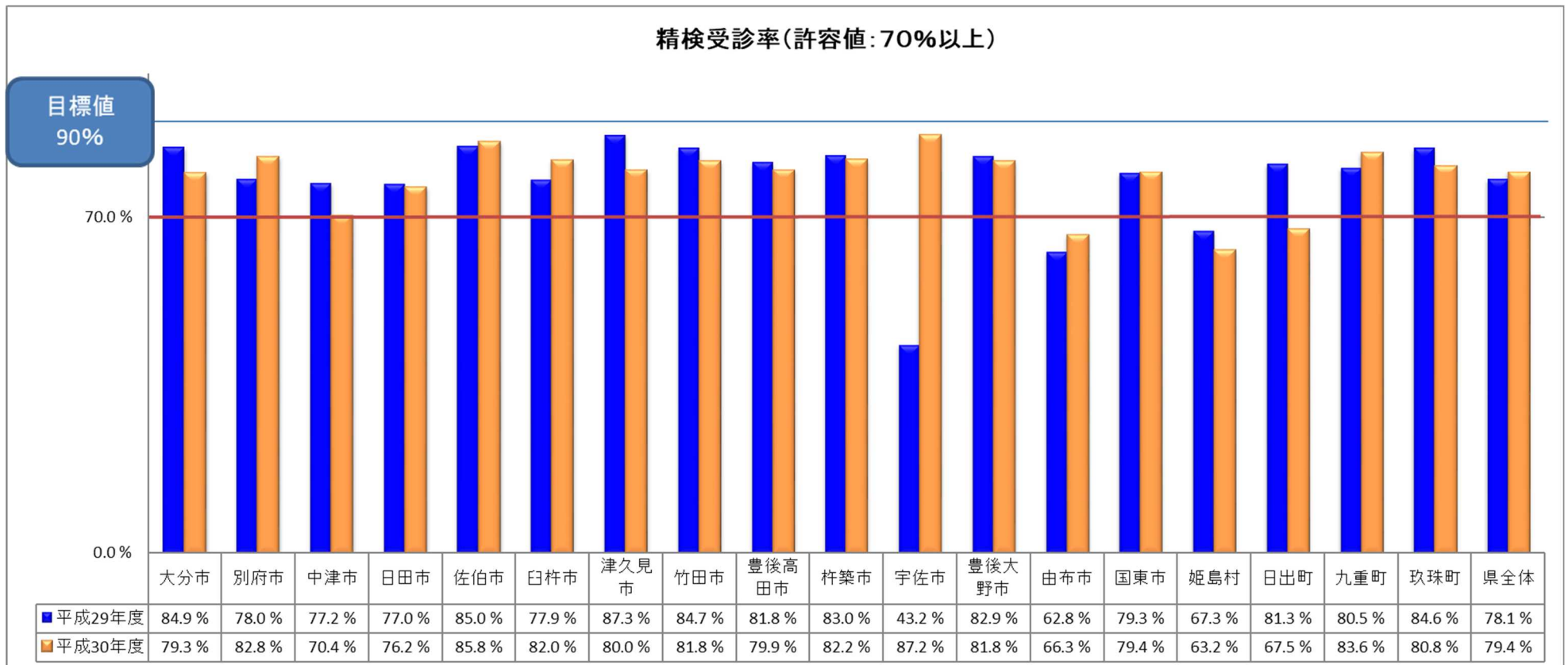
なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



*居住市町村不明分を除く

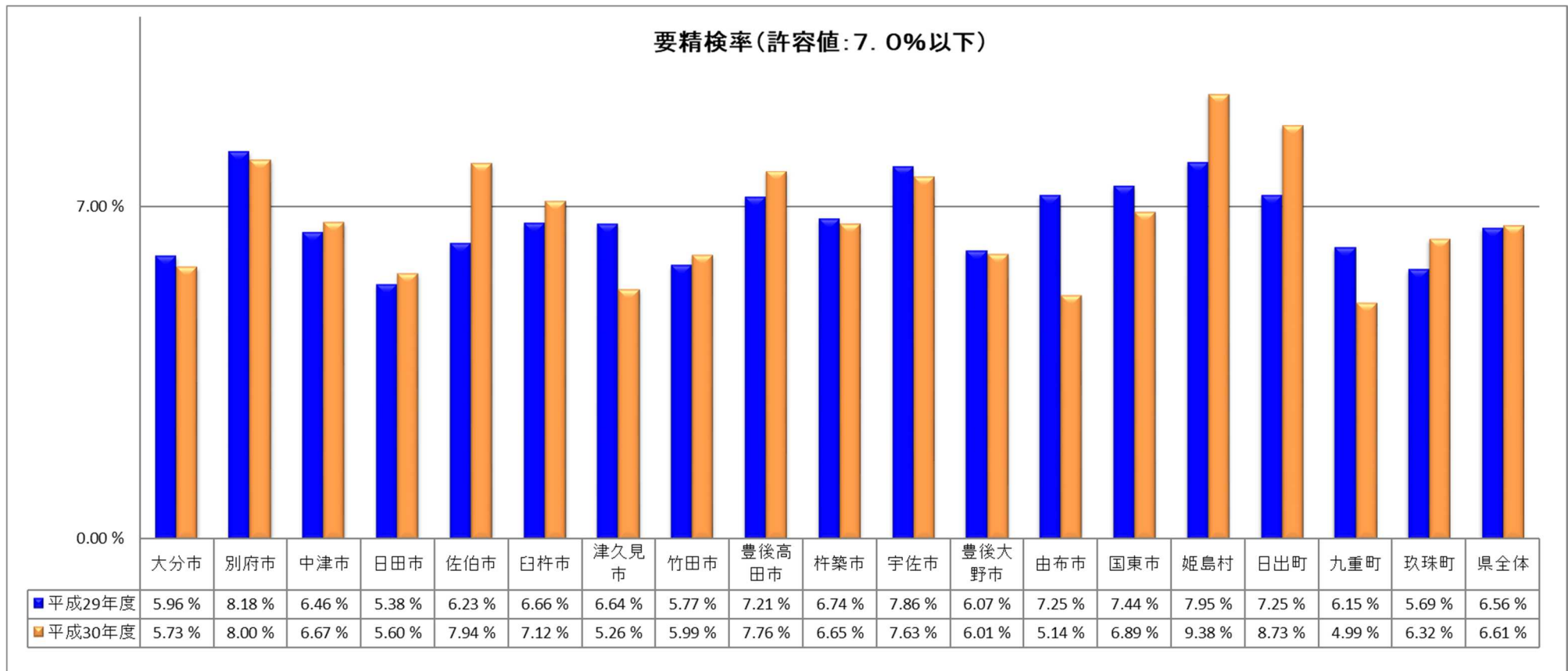
①-2 大腸がん検診 精検受診率/市町村別集計

平成30年度データでは、許容値である70%を15市町村が達成している。県全体でもわずかに改善している。



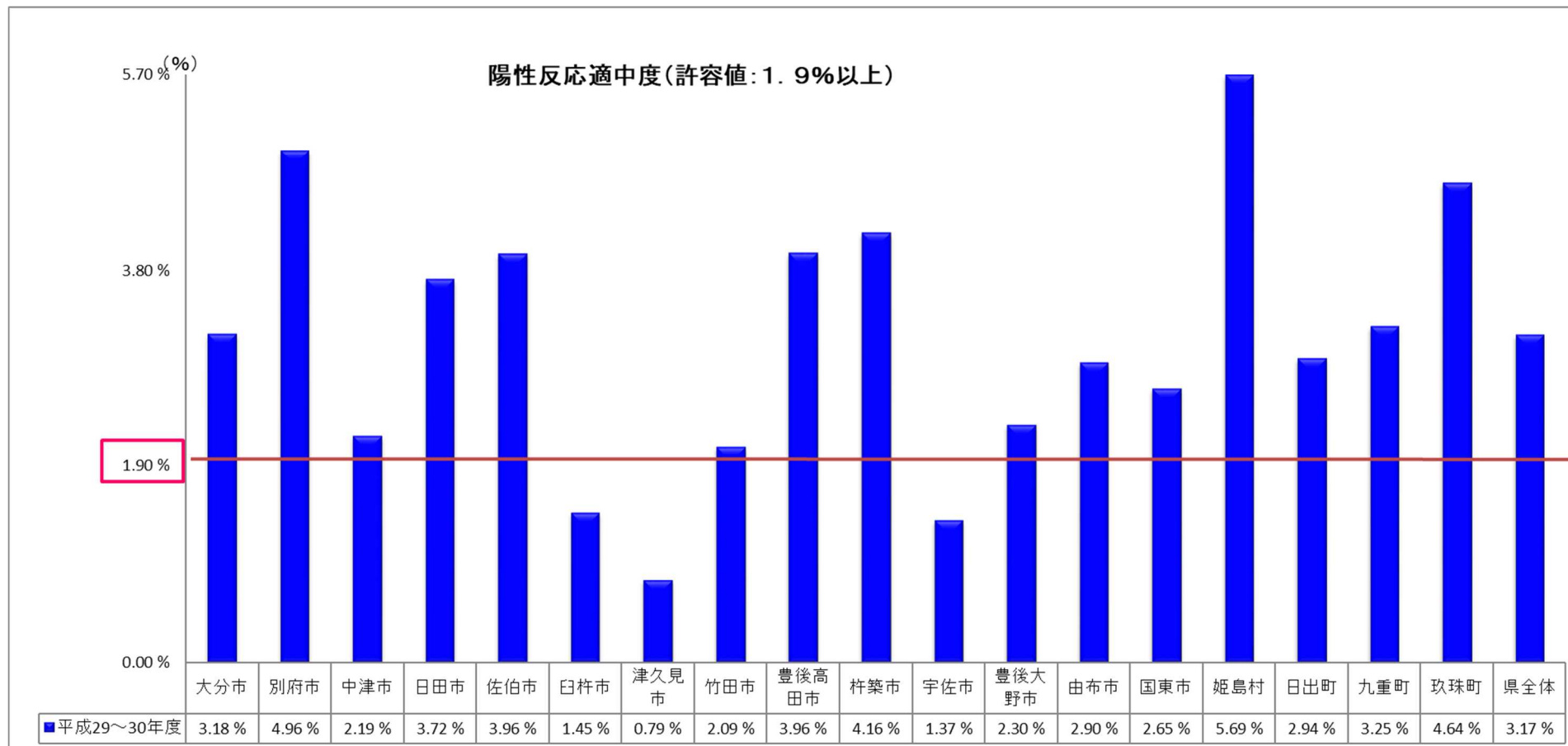
①-3 大腸がん検診 要精検率/市町村別集計

おおむね7%以下程度であり、大きくはずれた市町村もない。



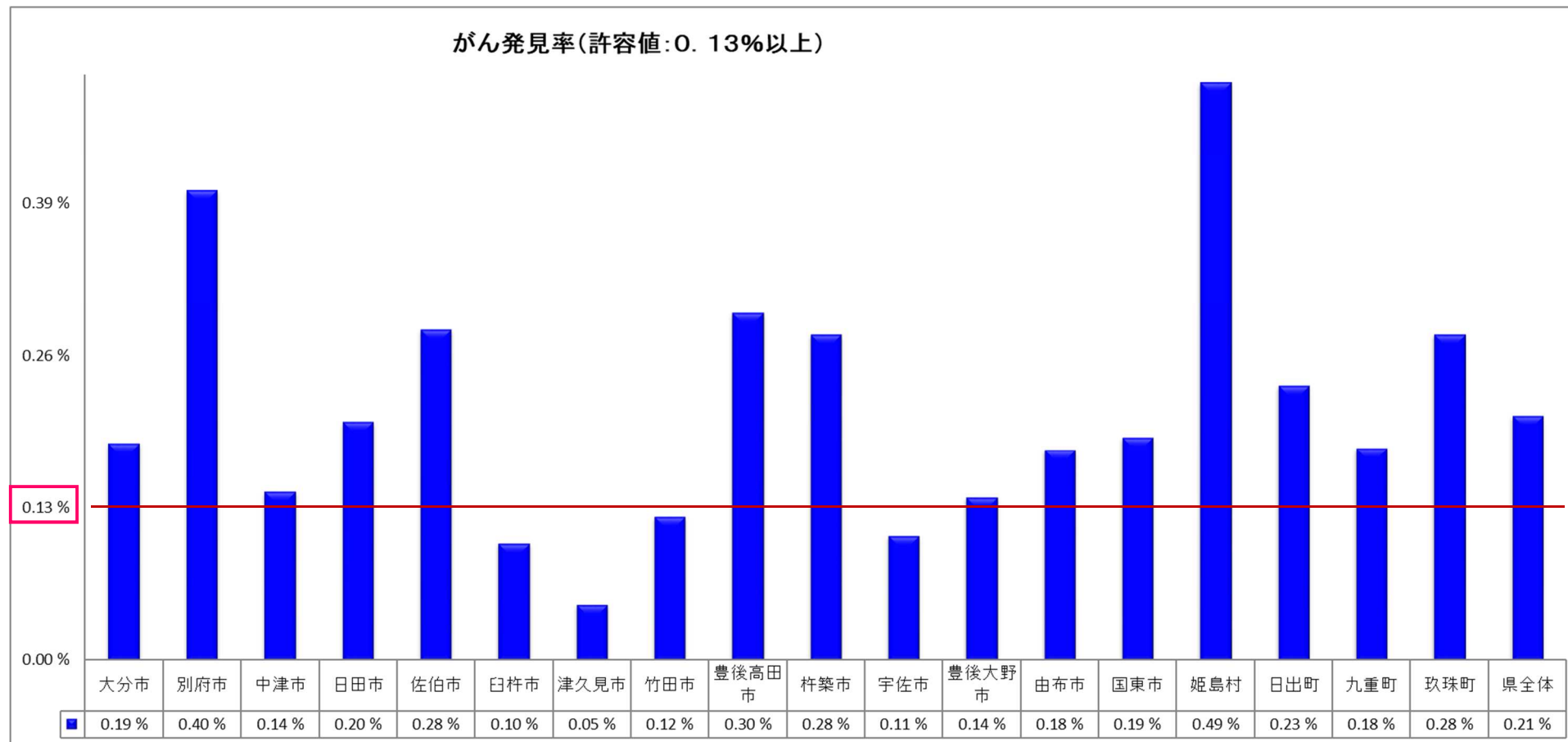
①-4 大腸がん検診 陽性反応適中度/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成 29 年度及び平成 30 年度の平均による数値で示しています。
 県全体では良好な数値であるが、市町村ごとにばらつきがやや大きい。



①-5 大腸がん検診 がん発見率/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成 29 年度及び平成 30 年度の平均による数値で示しています。
 県全体では良好な数値であるが、市町村ごとのばらつきがやや大きい。

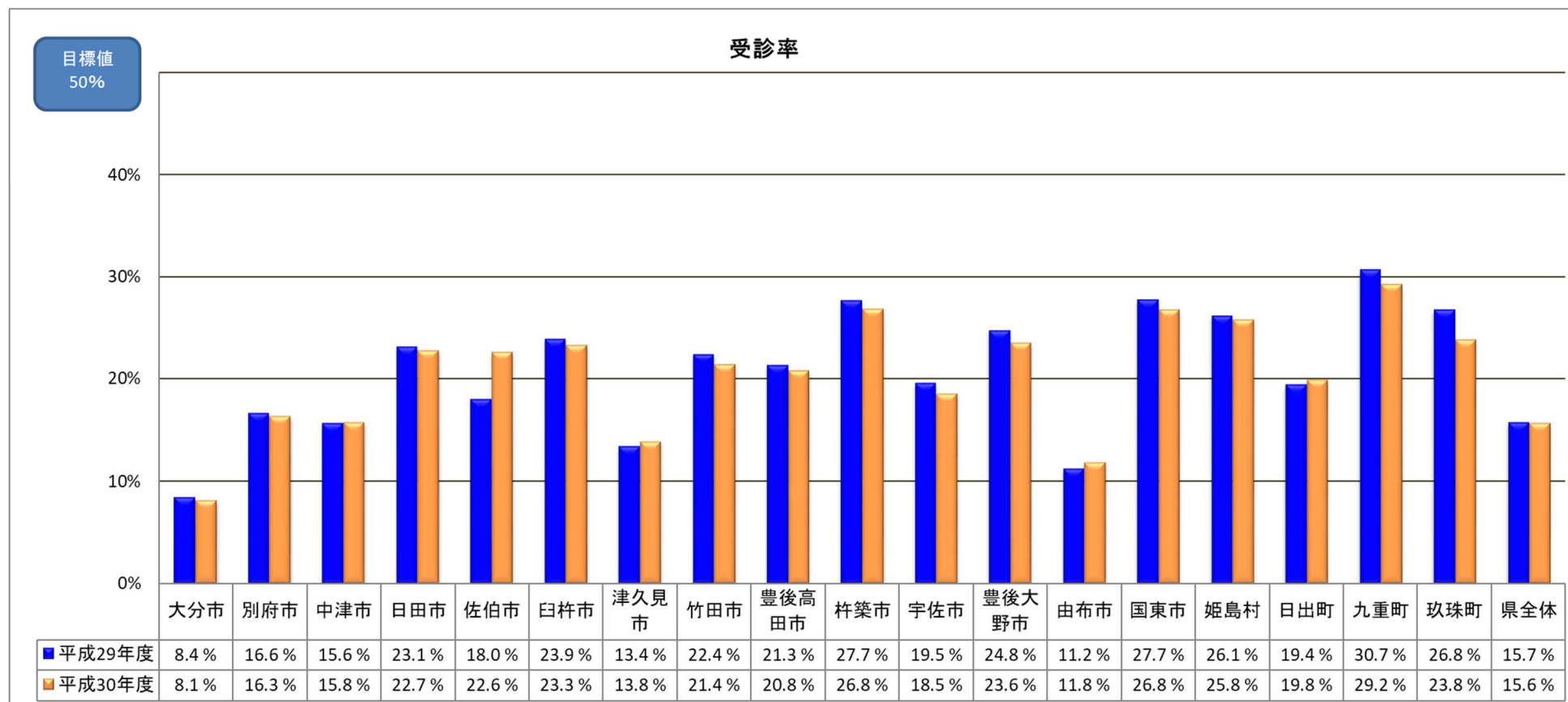


(4) 子宮頸がん検診

①-1 子宮頸がん 受診率/市町村別集計

目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

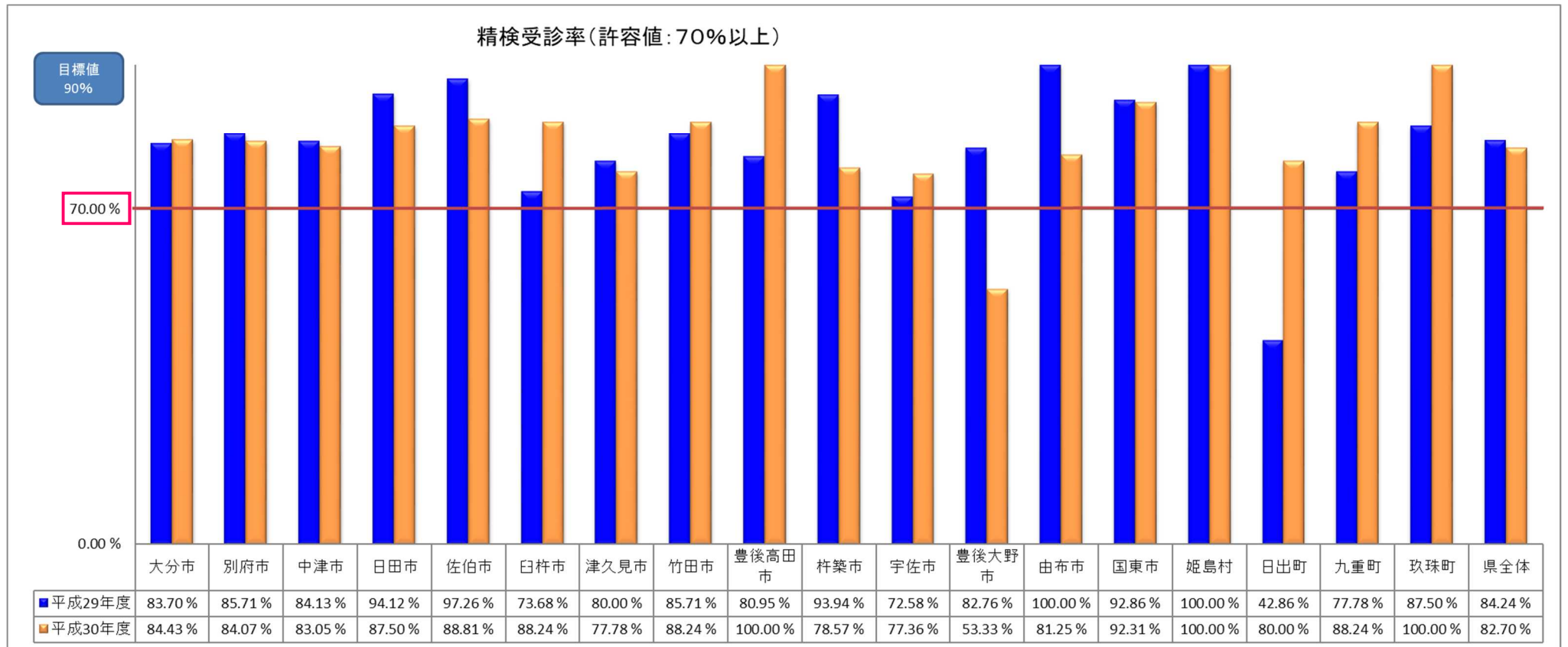
ただし、受診対象者の多くを含む職域受診者が含まれないため、実際の受診率との乖離が大きい。



*居住市町村不明分を除く

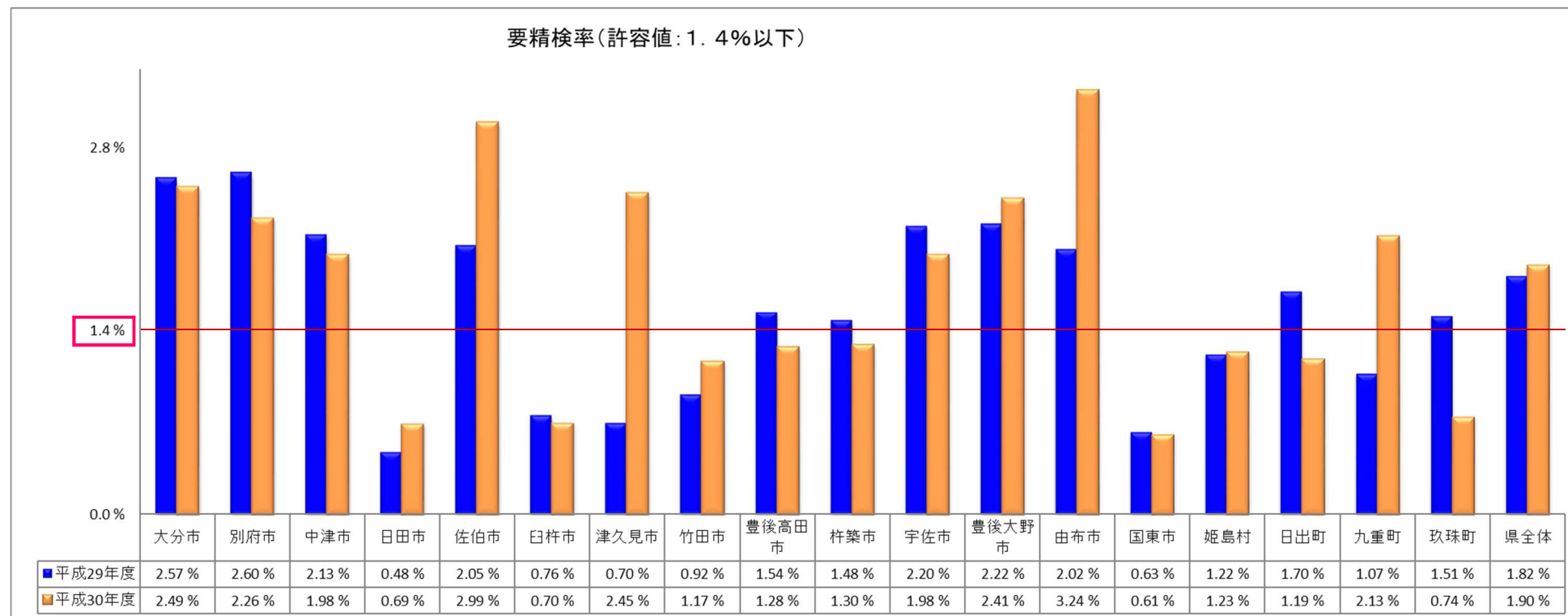
①-2 子宮頸がん検診 精検受診率/市町村別集計

許容値である70%を17市町村で達成しています。ただし、県全体でみるとやや低下している。



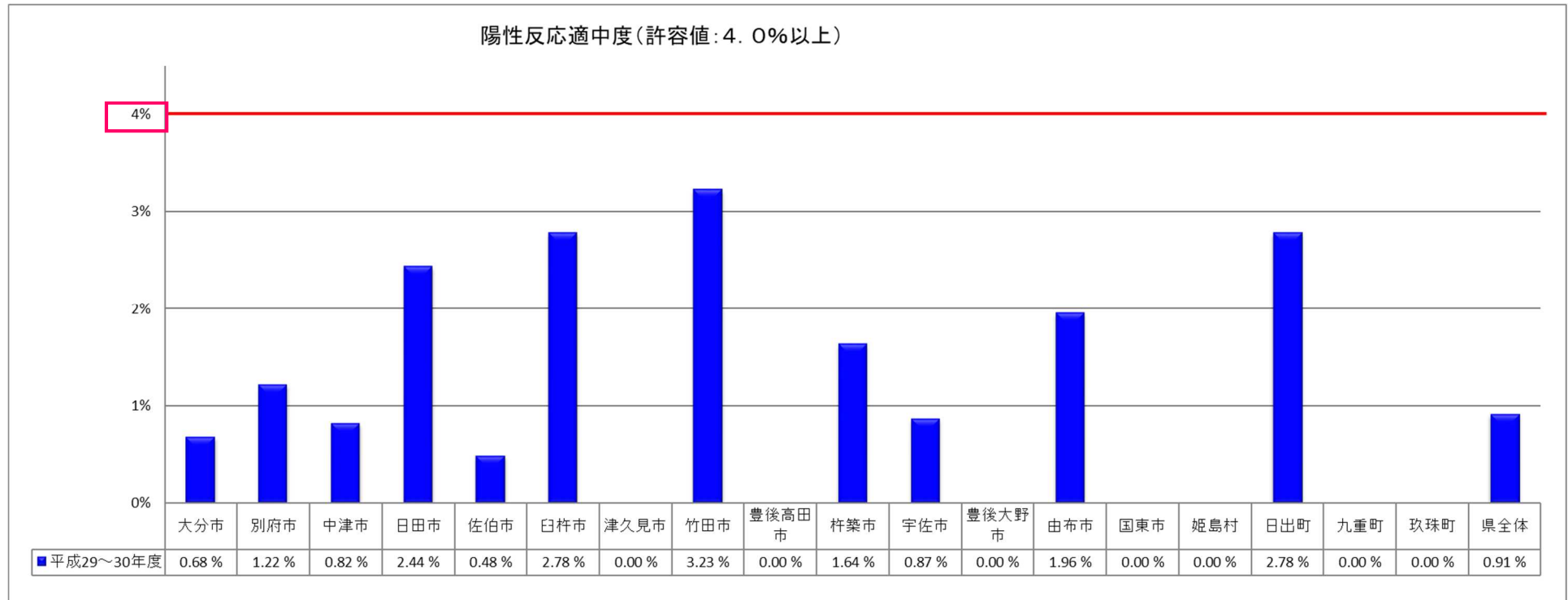
①-3 子宮頸がん検診 要精検率/市町村別集計

市町村間のばらつきが大きい。県全体では、1.4%と許容値より高い数値になっている。



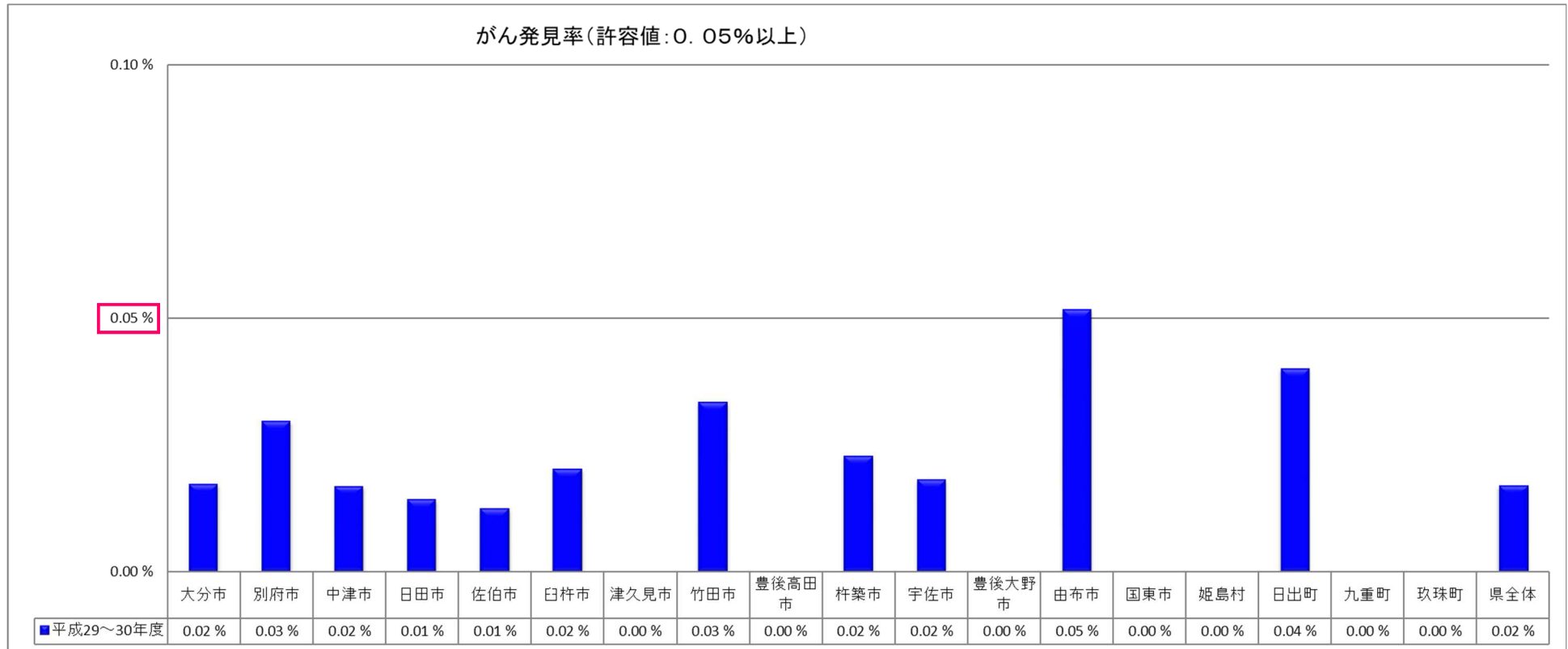
①-4 子宮頸がん検診 陽性反応適中度/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成29年度及び平成30年度の平均による数値で示している。
許容値である4.0%以上となっている市町村はありません。



①-5 子宮頸がん検診 がん発見率/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成29年度及び平成30年度の平均による数値で示しています。許容値である0.05%以上となっているのは、1市町村のみです。

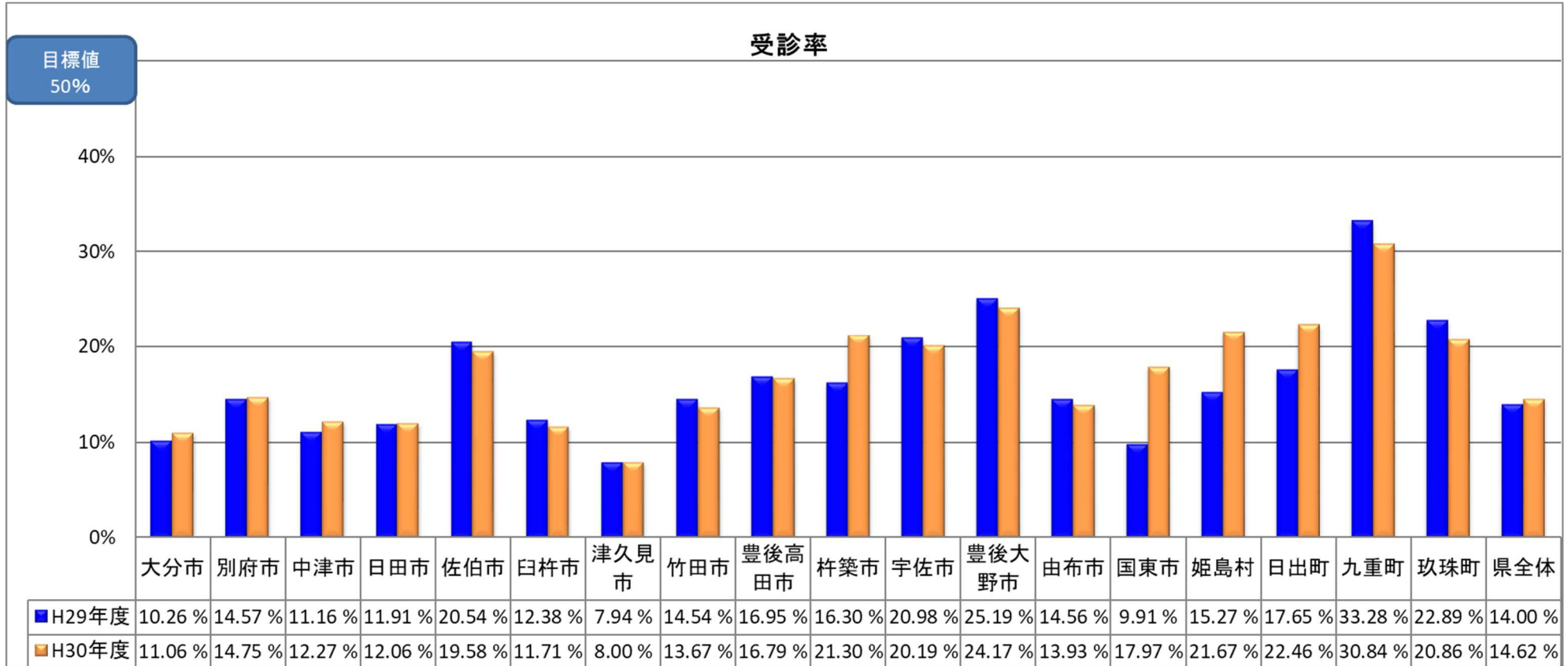


(5) 乳がん検診

①-1 乳がん検診 受診率/市町村別集計

目標値である50%にはいずれの市町村も到達していません。

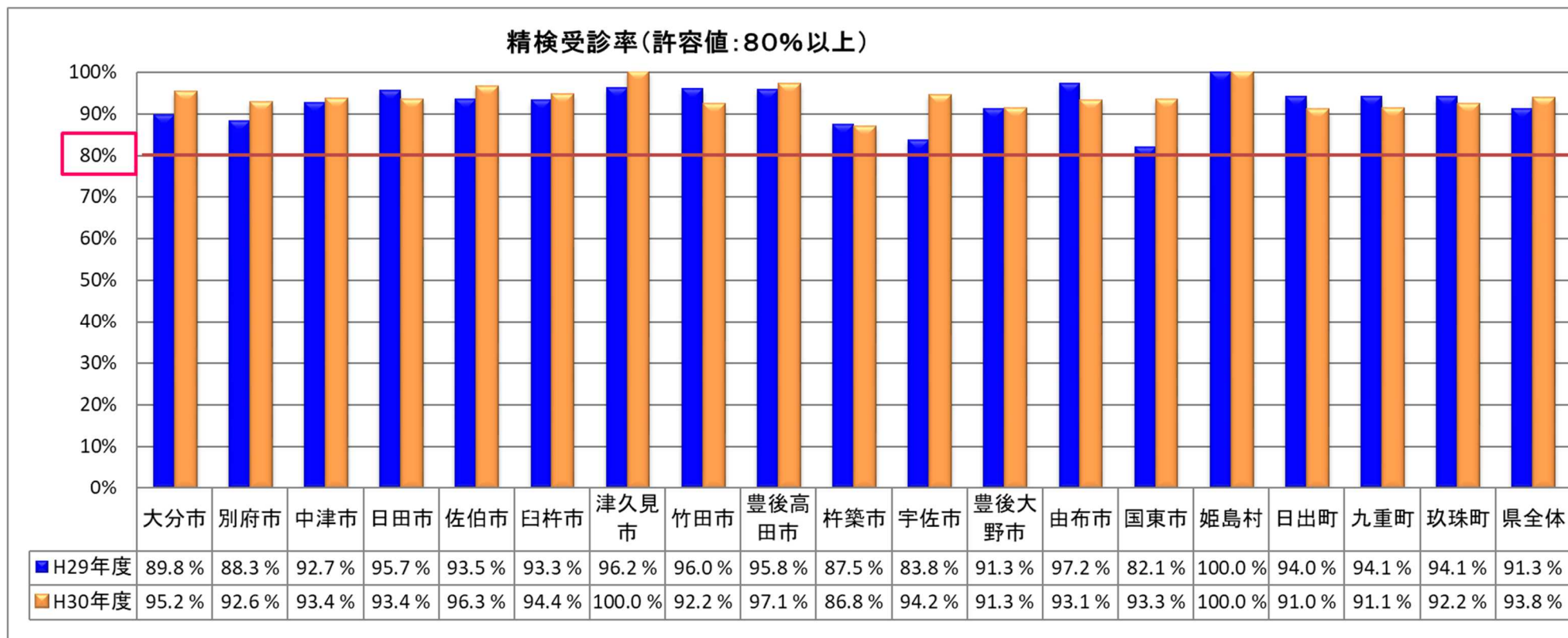
ただし、受診対象者の多くを含む職域受診者が含まれないため、実際の受診率との乖離が大きい。



* 居住市町村不明分を除く

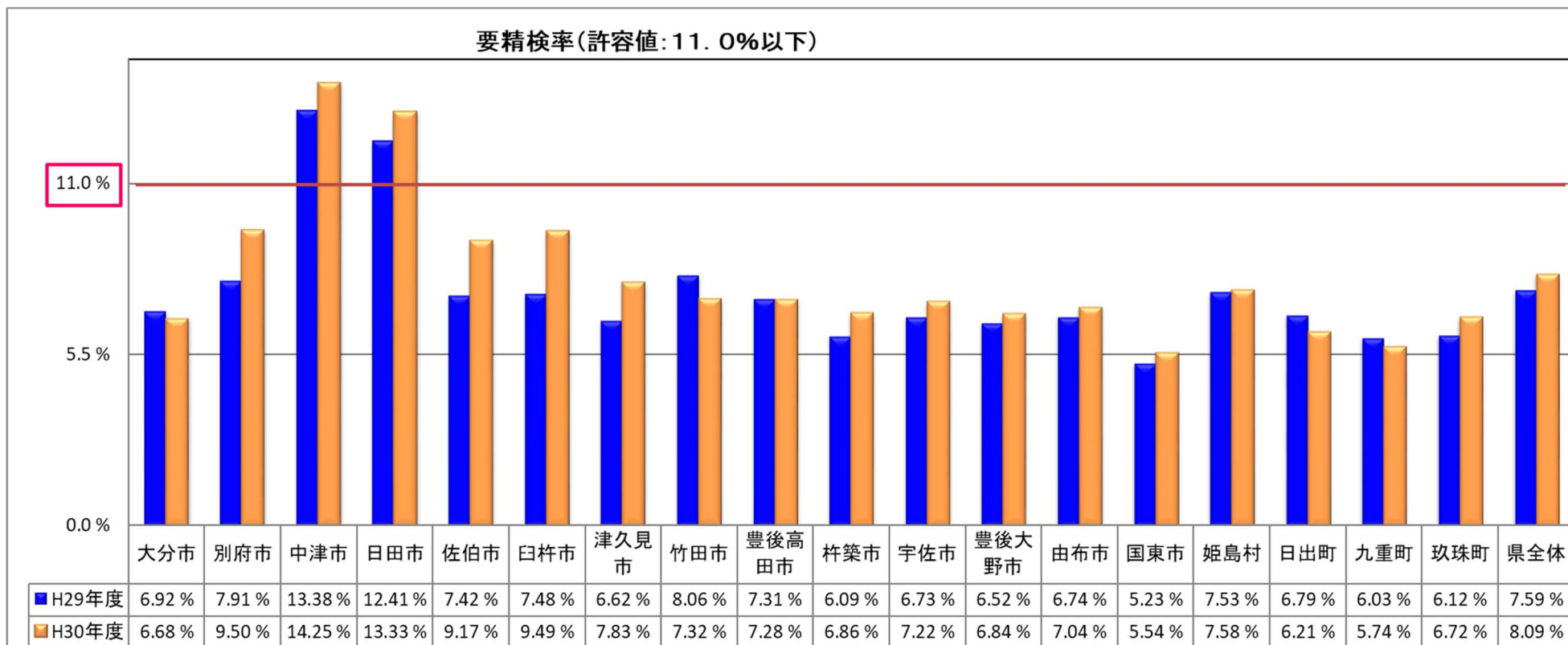
①-2 乳がん検診 精検受診率/市町村別集計/

許容値である80%をすべての市町村で達成しています。県全体でも93.8%と良好な数値です。



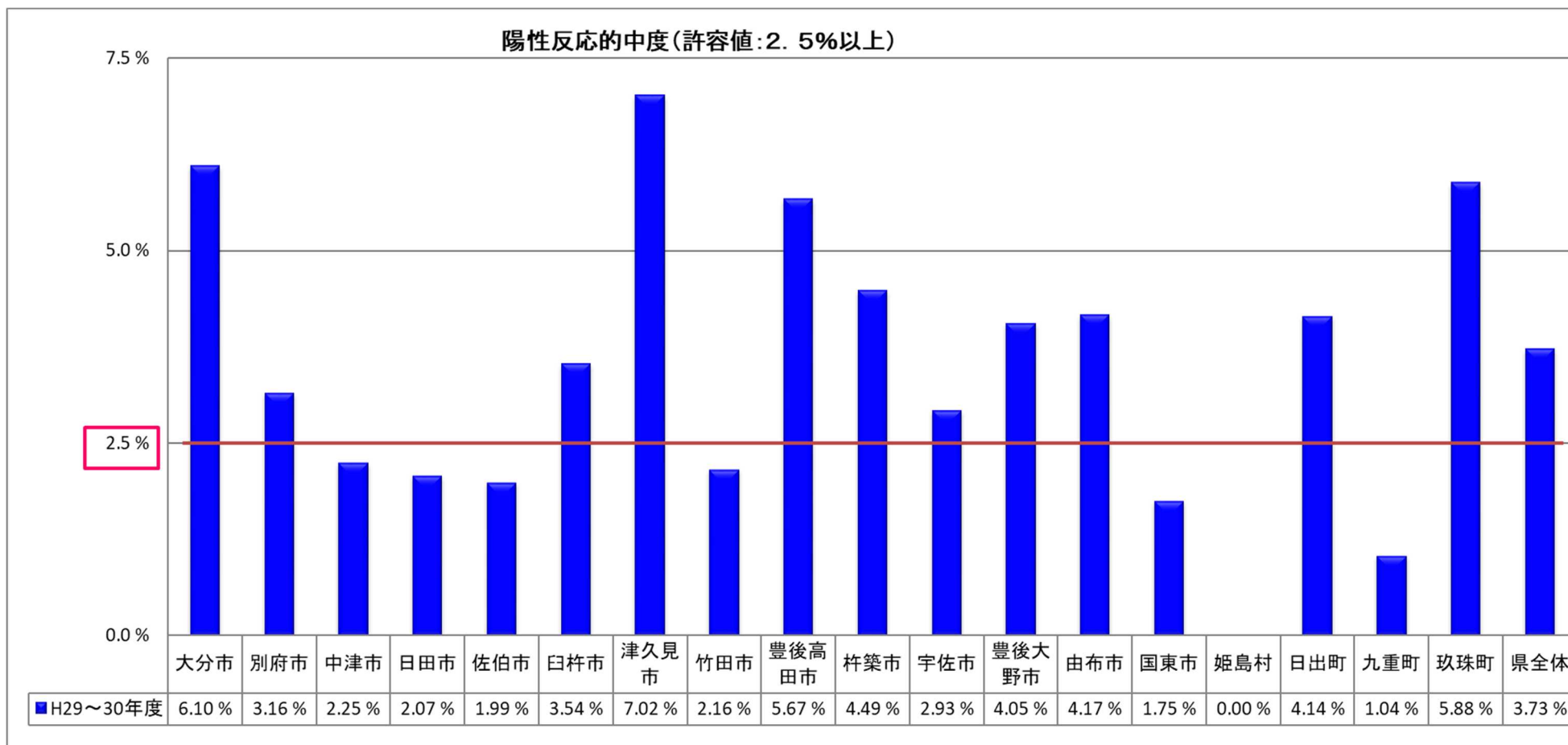
①-3 乳がん検診 要精検率/市町村別集計

16市町村が許容値である11%以下となっています。



①-4 乳がん検診 陽性反応適中度/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成29年度及び平成30年度の平均による数値で示しています。
 全体では許容値である2.5%以上を満たしますが、市町村間の変動が大きい。



①-5 乳がん検診 がん発見率/市町村別集計

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成29年度及び平成30年度の平均による数値で示しています。
 県全体では許容値である0.23%以上を達成していますが、市町村間の変動が大きいです。

